

足圧分布から見たウエディングドレスの姿勢変動について  
 和洋女子短大 ○カヲル子 伊藤秀三郎  
 姿勢保健均整専門学校 坂本元一

目的 人生のクライマックスを飾る純白なトレーンをついたウエディングドレス、お色直し時のロングドレスは、清純な美しさをかもし出す。こうした豪華な花嫁衣装を着用する事によって、姿勢がどう変動するか、またフォームがどうかを足圧計測器で検討してみた。

方法 被験者には、20歳の女子短大生3名、31、40歳の女子2名で、着衣は、ウエディングドレス、お色直しロングドレス及び普段着である。足圧計測器(坂本元一考案)は、超小型荷重電気変換器を使用し、1秒間隔で30秒間、両足踏面20箇所、足圧を計測する仕組である。測定結果は、マイクロコンピュータに一瞬記憶させ、測定終了後、パーソナルコンピュータに転送し解析する。

足圧計測例

部位	最大	最小	変動値	平均値	被験者	E.T
1	0.88	0.27	0.61	0.56	年令 20歳 着衣 ウエディング ドレス	
2	0.13	0.06	0.07	0.10		
10	6.78	4.46	2.32	5.68		
20	13.89	10.42	3.47	11.80 (kg)		

結果 (1)3着装の場合、足圧変動については、ウエディングドレスを着用した場合が変動はもっとも少ない。

(2)4区画の足圧合計値より、姿勢については、幾分変化が見られた。